

TOHOKU Fan Club 友達紹介&新規入会Wキャンペーン実施中！

東観推では、持続可能な東北観光を実現するための活動を一緒に応援してくれるファンの会員組織「TOHOKU Fan Club」を12月に新たに設立しました。

このたび、会員サイトの新機能として「友達紹介」を加え、すでに会員登録されたファンの方とこれから会員登録していただくファンの方を対象にしたキャンペーンを実施中です。ぜひご参加ください！



1. キャンペーン名称

「TOHOKU Fan Club友達紹介&新規入会Wキャンペーン」

2. キャンペーン期間

2022年2月15日（火）～3月31日（木）まで

3. キャンペーン内容

(1) キャンペーンその1「友達紹介ポイント倍増キャンペーン」

新機能の「友達紹介」で貯まるポイント（1ポイント＝1円相当）が期間中2倍になります。

紹介したファン：通常紹介一人あたり50ポイントのところ100ポイントプレゼント

さらに、期間中に一番紹介人数が多かったファンにはボーナスポイントとして10,000ポイントをプレゼント（通常5,000ポイント）

紹介されたファン：通常100ポイントのところ200ポイントプレゼント

(2) キャンペーンその2「宿泊券プレゼントキャンペーン」

抽選で合計18組36名様に、東北の各エリアの魅力を2泊3日で満喫する

「Base!TOHOKU宿泊プラン」のペア宿泊券をプレゼントします。

ご希望の宿泊先は会員サイト内の応募アンケートから回答してください。

対象者は友達紹介をした既存会員とキャンペーン期間中に新規登録した会員（紹介有無問わず）です。



【「宿泊券プレゼントキャンペーン」宿泊先一覧】

①青森県 浅虫温泉
南部屋・海扇閣



⑦宮城県 秋保温泉
伝承千年の宿 佐助



⑬秋田県 乳頭温泉郷
休暇村 乳頭温泉



②青森県 浅虫温泉
ホテル秋田屋



⑧宮城県 秋保温泉
ホテルニュー水戸屋



⑭山形県 天童温泉
ほほえみの宿 滝の湯



③岩手県 花巻温泉郷
結びの宿 愛隣館



⑨宮城県 秋保温泉
篝火の湯 緑水亭



⑮福島県 土湯温泉
ホテル山水荘



④岩手県 花巻温泉郷
湯の杜 ホテル志戸平



⑩宮城県 秋保温泉
ホテル瑞鳳



⑯福島県 高湯温泉
花月ハイランドホテル



⑤岩手県 花巻温泉郷
ホテル紅葉館



⑪宮城県 秋保温泉
奥州秋保温泉 蘭亭



⑰福島県 飯坂温泉
匠のこころ 吉川屋



⑥岩手県 つなぎ温泉
ホテル紫苑



⑫宮城県 作並温泉
鷹泉閣岩松旅館



⑱新潟県 岩室温泉
高志の宿 高島屋



是非、この機会にTOHOKU Fan Clubへのご登録並びにご紹介をお願いいたします。
会員登録がまだの方は、是非特設サイト（<https://tohokufanclub.com>）から、
会員登録をお願いいたします。



【特設サイトはこちらから！】

タイ市場に向けてフルオンラインの東北プロモーションを実施しました (2月18日～20日)

東観推では、タイ市場に向けて新型コロナウイルス感染症拡大後も現地観光関係団体と連携して、観光事業者向けのオンラインセミナーなどを定期的に開催し、継続的なプロモーションを行っています。

依然として両国間の移動制限が続き、現地での観光プロモーション等が厳しい中ではありますが、同国市場の東北への関心をさらに高め、渡航再開後の東北のインバウンド観光需要の早期回復を目的に、タイ国一般消費者に向けてフルオンラインPRイベントを実施しました。

このイベントでは、YouTube、Facebook 等の一般消費者に馴染みのある SNS を発信媒体とし、同国で知名度が高いインフルエンサーと連携をしながら、インバウンド再開後も引き続き選ばれるデスティネーションとなるように、観光地、グルメの紹介に加えご当地クイズやスタジオからライブで中継する体験コーナーなど、東北の魅力を多面的に情報発信しました。

3日間で合計約4万回視聴いただき、5000件以上のコメント、200件以上のアンケートが集まるなど、予想以上の反応がありました。(2月20日放送終了時点) 配信コンテンツは特にライブ配信の盛り上がりが非常に高く、現地への訴求力の高さが感じられました。

●配信の様子はこちらからアーカイブで確認できます。ぜひご覧ください。

イベント名称

「超楽しい妄想旅で気分上々 in 東北」

Facebook : <https://www.facebook.com/tohokufuntrip/>

YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCsFgXeMkBYWaVeS6_Q2cpgg



【オープニングトーク】



【クイズコーナー】



【けん玉プロによるけん玉コーナー】

教育旅行オンライン招請を実施しました（台湾2月15日、タイ2月21日）

台湾とタイの学校関係者や現地旅行エージェントを対象に、オンライン招請を実施しました。当初は2020年度に東北に来ていただき、各教育施設を実際にご案内する予定でしたが、コロナによる渡航制限によって延期となっていたものを、このたび、オンラインへと変更して実施しました。

当初予定していた行程はそのままに、各施設のライブ中継や撮影した動画、既存のPR動画を織り交ぜつつ、両国の現地会場にお集まりいただくハイブリッド型にて発信しました。また、あらかじめ福島県の赤べこ、岩手県の花巻こけしの絵付け体験キットや、東北各県の銘菓を現地にお送りし、中継しながら体験いただくなど、視聴するだけでなく、実際に東北を楽しんでいただけるような工夫を取り入れました。

当日は台湾、タイ、それぞれ20名程の方にご参加いただき、台湾では青森・岩手コースを、タイでは宮城・福島コースをご案内しました。

ツアー後の意見交換会では、各県の教育旅行補助制度や、将来生徒が日本で働くことも視野に入れた工場見学（職場体験）についてなど、具体的な質問もいただき、往来再開に向けて訪東北の意欲が感じられる内容となりました。

今回教育旅行として初めてのオンライン招請という試みでしたが、台湾・タイに向けて東北の教育的価値や魅力を訴求することができたとともに、両国と各県各事業者との関係性も構築することができました。

今後も継続して東北教育旅行を発信してまいります。



【ワ・ラッセとの中継】



【小岩井牧場との中継】



【赤べこ絵付け体験中継】

韓国市場に向けてオンラインセミナーを開催しました（2月17日）

韓国現地旅行会社等に向けてWEB会議ツールを活用した「東北観光オンラインセミナー」を実施し、29社34名の方にご参加いただきました。

今回の事業のメインターゲットである「アウトドア+α」を好む層に向けて、東北のアウトドア情報やランドオペレーターからの情報、過去に招請を実施したメディアによる講演等、様々な角度からの紹介を行いました。

また、韓国ではコロナ禍においては密を避けた屋外でのアクティビティの需要が高まっていることなどから、参加者の求めに即したアウトドア要素にテーマを絞ったセミナーを実施し、現地での反応も良好でした。

アフターコロナの韓国からの訪日旅行商品増に向けて、今回のセミナーでは将来の旅行商品造成に繋がる、一定の成果を上げることができました。



【東北観光セミナー】



【招請事業紹介】

中国市場に向けてオンラインセミナーと商談会を開催しました

仙台-大連便の国際定期路線再開を目指し、安全安心な東北地域の観光の魅力を発信することで新型コロナウイルス収束後の中国・東北3省からの誘客を図るため、中国の大連、瀋陽及び北京の3会場において旅行会社等を対象としたオンラインセミナー及び商談会等を実施しました。

オンラインセミナーでは、東北全体のプレゼンとして、新型コロナウイルス感染対策、東北の四季の魅力等を参加者に丁寧に伝え、その後、東北各県市担当者から、4つのテーマ「密にならないコンテンツ」「日本文化体験」「農業・漁業体験」「ウィンタースポーツ」に沿った内容で東北のプロモーションを行いました。一部の自治体からは、観光地からの生中継を行い、現在のリアルな東北の様子を中国の参加者に伝え、参加者からは「臨場感が伝わって良い」「はやく東北に行きたい」等高い評価をいただきました。セミナー終了後は、中国側参加者から多くの質問をいただく等の反響があり、コロナ収束後の東北への送客についても期待の持てる結果となりました。

東観推では、引き続き、中国市場へのプロモーション等を多角的に展開してまいります。

- 大連会場（2/22）オンラインセミナー：61名/商談会：日本側23名、中国側25名
- 瀋陽会場（2/25）オンラインセミナー：60名/商談会：日本側24名、中国側30名
- 北京会場（2/28）オンラインセミナー：78名



【オンライン商談会の様子】



【プレゼンの様子】



【主催者挨拶】

フィリピンのインフルエンサーを招請しました（1月31日～2月5日）

フィリピンの一般消費者に対し、東北ならではの魅力的な観光資源の情報発信の強化と、コロナ収束後の東北への誘客促進を図るため、フィリピン人の一般消費者に影響力のある在日インフルエンサー2名を招請し、青森県、秋田県、岩手県、宮城県の内容を視察しました。

「宮城蔵王きつね村」「猊鼻溪舟下り」「男鹿真山伝承館」「鶴の舞橋」等に加え、冬期ならではの「すみかわスノーパークの樹氷めぐり」や「雫石スキー場でのアクティビティ体験」等、東北の様々な魅力あるコンテンツをふんだんに行程に盛り込みました。

参加者は雪の経験が少なかったため、東北の豪雪に感動したようで、多くの時間を割いて撮影する姿が随所に見られました。また、「フィリピン人は雪に憧れを抱いているので、東北は間違いなく嗜好に合致する」とのコメントもいただきました。

参加者には東北の魅力を十分にお伝え出来、今後多くの情報発信に期待が持てる招請となりました。



【すみかわスノーパーク】



【なまはげ文化の体験】

豪州メディアを招請しました（2月7日～2月11日）

在日豪州メディア（「Mountain Watch」及び「Snow Best」）2名と雪の撮影に熟練したカメラマン2名を招請し、青森県・岩手県・秋田県のスノーコンテンツを中心とした紹介を行いました。

今回は「八甲田スキー場」「安比リゾートスキー場」「田沢湖高原スキー場」を訪れ、良質な雪質を楽しんでいただきました。田沢湖高原スキー場では、山頂での田沢湖の景色が非常に美しく、雪質以外にも大いに魅力が感じられたとのことでした。スノー以外にもねぶたの和紙を使ってのランプ制作体験や奥入瀬の瓢箪ランプを作成なども非常に好評で、Instagramなどにたくさん投稿いただきました。

豪州ではニセコや白馬に代わる隠れたスキーリゾートを探すのがトレンドになりつつあり、「東北こそまさに隠れた秘宝」とのコメントもいただきました。

また、ウィンターシーズンだけでなく、夏にグランピングやサイクリングでも訪れたいとのことで、冬だけでなく「東北」という地に魅力を感じていただける有意義な招請となりました。



【奥入瀬ランプ製作体験】



【八甲田スキー場】

中国のインフルエンサーを招請しスキー熟練層に向けたプロモーションを実施しました（2月7日～2月11日）

在日中国人インフルエンサー2名とカメラマン1名を招請し、新潟県・福島県・山形県・岩手県のスノーアクティビティを中心に、スキー熟練層をターゲットにした取材を行いました。

特に今回取材した「ロッテアライリゾート」「蔵王温泉スキー場」「夏油高原スキー場」は、それぞれに特徴や見どころがあり、いずれも高い評価をいただきました。

招請期間中にも参加者からSNSで発信をしていただき、それを見た方からは「日本らしい温泉が魅力的」と、蔵王温泉を中心に多くの反応がありました。

2022年北京冬季オリンピックの開催などを契機に、中国市場では訪日スキー旅行への需要が高まっており、インフルエンサー自身にも多くの問い合わせが入っているとのことでした。

今回の取材を基にした発信に加え、中国市場に向けて継続したプロモーションを実施してまいります。



【ロッテアライリゾート】



【夏油高原スキー場】

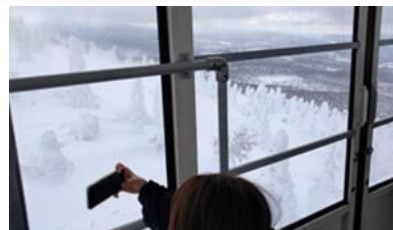
欧米豪の富裕層向け旅行エージェントを招請しました（2月14日～18日）

欧米豪の富裕層向け旅行を取扱う国内のエージェント4社を招請し、青森県・岩手県・秋田県を視察しました。

冬の北東北を訪れるのは初めてのの方が多く、樹氷やロープウェイから見る広大な大自然に驚きの声があがったり、トレッキング体験では「スキーやスノーボードボ以外にもこんな楽しいアクティビティがあるのか」「雪はとても軽く、全く疲れない」などの声をいただきました。あわせて春の新緑、秋の紅葉の素晴らしさを伝えることで、通年の魅力をPRすることができました。

秋田（湯沢）のヤマモ味噌醤油醸造元の視察では、新たに発見した酵母で作ったワインやフィンガーフード（指でつまんで簡単に食べられる料理）を堪能し、伝統の商品製造にプラスして、新たな取組みを打ち出す経営に共感され、「ぜひ欧米の訪日客にも紹介したい」など感想を多くいただきました。

今回はイベントの中止や美術館の休館など、コロナの影響を大きく受けましたが、東北の雄大な大自然と東北でしかできない体験を堪能していただき、今後の商品造成に向けて大きな成果を得られました。



【八甲田ロープウェイから】



【七滝水瀑】

中国のインフルエンサーを招請し家族向けの東北の魅力を視察しました (2月17日～21日)

中国の家族層に影響力のある在日中国人インフルエンサーを招請し、宮城県、福島県、山形県のスノーコンテンツを中心に視察しました。

行程には「桧原湖でのワカサギ釣り体験」「天童高原スキー場でのスノーアクティビティ体験」「スプリングバレー仙台泉スキー場でのスキー体験」等、冬の東北の魅力を堪能できるコンテンツの他、グランピング施設を兼ねた宿泊施設「yamagata glam」、天童での「そば打ち体験」、仙台駅に近い「うみの杜水族館」等、家族で楽しめるコンテンツを織り交ぜました。

参加者からは、「今回の招請を通して東北の冬の魅力を十分に堪能できた」「東北のファンになった」「今度プライベートで必ず東北に来る」などの好意的なコメントを多数いただきました。

冬の東北の魅力を十分にお伝え出来、今後多くの情報発信効果に期待が持てる招請となりました。



【スキー体験】



【ワカサギ釣り体験】

中国の旅行会社を招請しました (2月21日～25日)

在日中国旅行会社5社5名を招請し、秋田県・岩手県・宮城県・福島県のスノーアクティビティを中心に、視察ツアーを実施しました。

「たざわ湖スキー場」「安比高原スキー場」でのスキー体験を含め計5か所のスキー場を視察しましたが、どのスキー場も雪質が非常に良く、それぞれグレンデヤリフトなどの設備がしっかりしていると高い評価をいただきました。

また、中国ではファミリーで楽しむ層も増えており、スキー場へのアクセス以外にも一部屋の定員数も非常に重要との事で、多様な部屋タイプを持っている宿泊施設は商品化しやすいとの事でした。

2022年北京冬季オリンピックの開催などを契機に、中国市場では訪日スキー旅行需要が高まっており、ウィンターシーズンにおける東北新潟エリアの商品造成を今後を見据え、継続したプロモーションを実施してまいります。



【小岩井農場】

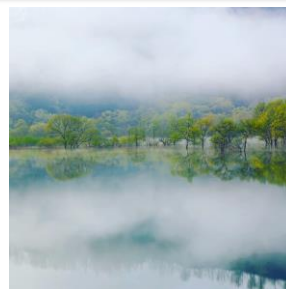


【イエローフォール】

「旅東北」フォトライブラリーに新たな写真を追加しました！

東観推が運営する、東北の観光・旅行情報サイト「旅東北」フォトライブラリーに新たな写真(約100枚)を追加しました。

どれも魅力的な写真となっていますので、東北の観光を広くPRいただくため、個人でお楽しみいただくためなど、是非ともご利用ください。写真は無料でダウンロードしていただけます。



【山形県 白川ダム湖水没林】

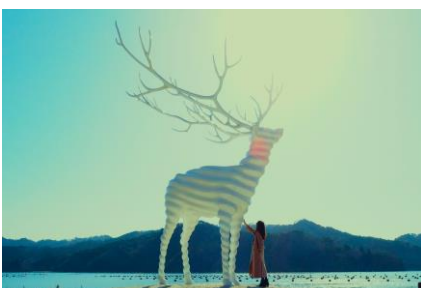


【秋田県 能代七夕 天空の不夜城】

「旅東北」フォトライブラリーはこちら

<https://www.tohokukanko.jp/photos/index.html>

※並び順を「更新日順」で設定いただくと、新しい追加写真がトップから表示されます。



【宮城県 リボン・アート・フェスティバル】



【福島県 猪苗代ハーブ園】



【青森県 鶴の舞橋】



【岩手県 小岩井農場の一本桜と岩手山】

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では、コロナ禍における興味喚起とコロナ収束後の誘客に向け、SNSを活用し、日本国内および海外に対して、東北の観光情報等を発信しています。

春の訪れも待ち遠しい2月は、1月に引続き東北の冬祭り特集として、大内宿雪まつり（福島県）・八戸えんぶり（青森県）、酒とグルメでは、浦霞醸造元佐浦酒造（宮城県）・日本酒と寿司（新潟県）等を発信したほか、SNSでは一足早く東北の桜前線もスタートし、花見山公園の桜（福島県）、白石川堤一目千本桜（宮城県）を紹介しました。

また、日本語版では「#東北PR局」を付けていただいたユーザー投稿をリポストしています。冬のハッシュタグキャンペーンは2月末で終了しましたが、来年度もキャンペーンを計画していきますので、「#東北PR局」をご使用ください。

引続き東北観光の魅力発信に取り組んでいきますので、是非フォロー等よろしくをお願いします！

	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram（tohokutourism）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	



Base！TOHOKU コンシェルジュ視察（2月2日～2月3日）



Base！TOHOKU（ロングステイ）の重要なポイントは、お客様のご要望に沿った、地域の魅力的なコンテンツを、いかに適切にお客様にご案内できるかです。そこでお客様にご案内するBase！TOHOKUデスク（旅館・ホテルフロント）スタッフのブラッシュアップを、今回は秋保・作並エリアで実施しました。

インターコンチネンタルホテル大阪のチーフコンシェルジュを招請し、地元のお薦めコンテンツを視察した後、旅館および温泉旅館組合の方々と意見交換会を実施しました。意見交換会では「お客様へのご案内はここまでで十分などと、自分自身で一線を引く必要はまったくなく、お客様の要望をその先までご案内できるよう心掛けるべき」など貴重なコメントをいただきました。



【ニッカウヰスキー宮城峡蒸溜所】



【意見交換会の様子】



【アキウ舎】

第6期フェニックス塾 第7回塾を開催しました（2月10日）

今年度第7回目となる「フェニックス塾」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していた福島市での開催を仙台市に変更し、またセミナーにオンラインを取り入れ、初のハイブリッド方式での開催となりました。会場とオンライン合わせて28名の塾生が参加しました。

【第一部】セミナー

テーマ：「東北観光の未来への展望」

講師：東北観光推進機構 特別顧問 小縣方樹氏

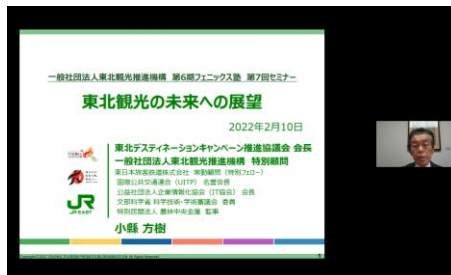
【第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、東北（TOHOKU）が国内外から選ばれる観光地になるには」のテーマに対してグループで最終の議論が交わされました。

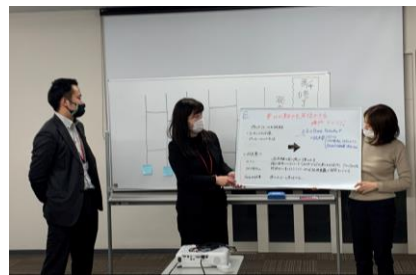
半年にわたって開催されたフェニックス塾はいよいよ次回、修了発表会を迎えます。



【セミナーの様子】



【小縣特別顧問のオンライン講義】



【ワークショップ内容の発表】

東北歴史文化講座オンライン開催中

東観推では、会員企業の東日本旅客鉄道株式会社との共催により、東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて紹介する「東北歴史文化講座」を開催しております。コロナ禍の状況をふまえて、事前収録をした講座の模様をホームページにて視聴いただくオンライン講座をぜひご覧ください。



東北6県の未知なる魅力を学ぶ時間

■第13回東北歴史文化講座《宮城県、山形県、福島県》

- ・テーマ：明治日本が夢見た東北開発 ～東北の三大土木遺産が語る国家プロジェクト～
- ・概要：明治初期、内務卿・大久保利通が主導し、富国強兵・殖産興業の一環として港や道路など交通網整備を基盤とする東北開発構想があった。「東北の三大土木遺産」に着目し、この国家プロジェクトを地形と土木技術、当時の社会背景からとらえ直す。

■第12回東北歴史文化講座《青森県、秋田県、岩手県》

- ・テーマ：縄文人の食生活 ～狩猟採集と調理方法を中心に～
- ・概要：縄文時代の人々は、一体何を食べていたのか。持続的に採集をするため、栽培をしていたのではとの説もある。新たな縄文時代の食の形に迫る。

■第11回東北歴史文化講座《岩手県、青森県、宮城県》

- ・テーマ：覇王・秀吉に挑んだ九戸政実 ～天下平定の仕上げ「奥羽仕置」の真実～
- ・概要：豊臣秀吉が天下統一の仕上げに行った「奥羽仕置」。その強引な政治介入に抗った九戸政実が九戸城に籠城し、圧倒的不利な戦いに挑んだ経緯と内実に迫る。

※オンライン講座の動画を視聴するためには、登録が必要です。詳細は、専用ホームページをご覧ください。

<https://www.jreast.co.jp/tohokurekishii/>

「旅東北NEWS」VOL.042 2022年3月17日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！